

# 千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌

第9号

発行日 2014年(平成26年)7月15日  
発行 富山県立大学同窓会 会長 荒木 甫  
編集 「千瓢」編集部 [編集長 池上 効]  
住所 〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内  
電話 0766-56-7500 FAX. 0766-56-0396  
メール senpyokai@pu-toyama.ac.jp  
URL http://tpu-dosokai.jp/

## 巻頭ロングインタビュー

# 社会を豊かにする研究を目指して

環境工学科 九里 徳泰 教授

現在の環境問題にダイナミックに取り組む環境工学科九里徳泰教授ロングインタビューです。また数々の冒険（世界80カ国）を成し遂げた熱い思いを聞きました。

### ◎初めは一冊の本から

一環境工学科の教授として、環境科学と経営学を融合した環境マネジメントの研究により問題を解決しようと企業や社会へ提言、政策等に反映させるために精力的に活動しておられる九里教授。その教授が大学在学中から20年、これまで世界80カ国を舞台に世界的な冒険家として活動してこられたことは、驚きだと思います。まず冒険の話からうかがいますが、きっかけはなんですか

九里 小学生の時、学校図書室で読んだノルウェーの探検家アムンゼンの伝記です。アムンゼンがイギリスのスコット隊と史上初の南極点到達を争ってアムンゼンが先に到達する、その話に感銘を受けました。スコット隊は國と軍のうしろだけがあり、それに対してアムンゼンは個人として挑戦する、個人が自分の力を信じてやり遂げる、そこに魅力を感じたのです。しかし、現実世界では簡単には実現しません。夢物語でしかなかった冒険行が18歳の時に読んだ小西政継著「北壁の七人一カンチェンジュンガ無酸素登



研究室での九里徳泰教授

頂一」が後押しをしてくれました。世界第3位の高峰カンチェンジュンガへ酸素ボトルを使わずに、険しい北壁から挑んだ記録です。隊長を含めて隊員6名全員が登頂に成功したのです。日本人が世界的なヒマラヤの高峰を無酸素・北壁・全員登頂という世界トップの登山の方法を行ったことに感銘しました。このようなセンス

## 目

- 1 巷頭ロングインタビュー 環境工学科九里徳泰教授  
社会を豊かにする研究を目指して
- 5 富山県立技術短期大学首都圏応用數学科同窓会について  
橋村ヤスコ
- 5 『工学ガール2』
- 6 かまぼこチップス
- 8 私の好きなもの 山口 郁子／高橋剛一郎／高松 友見
- 9 大学ニュース
- 10 研究室の近況案内  
酵素化学工学講座／水環境工学講座／機械エネルギー工学講座／知能システム工学講座／情報メディア工学講座／
- 12 同窓会日誌

- 13 集まっています
- 14 探しています
- 16 「中国・大連での企業研修」レポート  
加藤 雄大／出町 駿明
- 18 この数字をご存じですか
- 18 ワインプレゼント
- 19 退職にあたって 奥田 實
- 19 はてなクイズ
- 19 ありがとうございます
- 20 平成26年同窓会総会のお知らせ
- 20 声
- 20 編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用數学科の1期生です。

で自己表現ができないかと思いました。

## 一中央大学の学生の時にチベットへ自転車で行っておられますか

九里 21歳の時で、チベット高原3105キロを自転車で横断しました。単独・無補給で世界初の記録を目指しました。これが冒険家としてのデビューです。多くの幸運が重なり、若いときに世界記録を達成できたことはとても運が良かった。

## ◎卒業論文はヒマラヤ交易の研究

### 一大学での卒業論文がヒマラヤ交易についてだそうですが

九里 大学を1年休学してチベットでヒマラヤ交易について研究して卒業論文を書きました。ヒマラヤでは各所に関所の様なところがあり、外国人は通行できませんが、現地の人が、国を超えた活発な交易をしていました。どんなものがどのような目的で取引されているかを商業的な面から調査しました。中央大学では商学部経営学科に在籍していたので、当時研究がほとんどなされていなかったヒマラヤン・トレーダーに注目し調べました。また物の動きは文化的な側面もあり、文化人類学的な面からも考えました。調査研究は好きなのでチベットや中国を中心に、その後も調査研究を続けました。1年後に国立民族学博物館の広報誌「月刊みんぱく」にヒマラヤ交易の論文が掲載されたことで研究への充実感を強く感じました。

### 一雑誌や新聞で多くの文章を書いておられますか

九里 学生時代から朝日新聞社の契約のライターとして文章を書いていました。その時に文章の基礎や、写真の撮り方、取材の仕方等を学びました。新聞、雑誌等に自分が出した企画を出して取材することもあるし、メディアからの依頼を受けての特派取材等、文筆をして生計をたてていました。その間に冒険も続けていました。1988年南米の最高峰アコンカグア(6952m)に



ヒマラヤ・ブータン

登頂して、5850m地点よりマウンテンバイクで滑走しました。

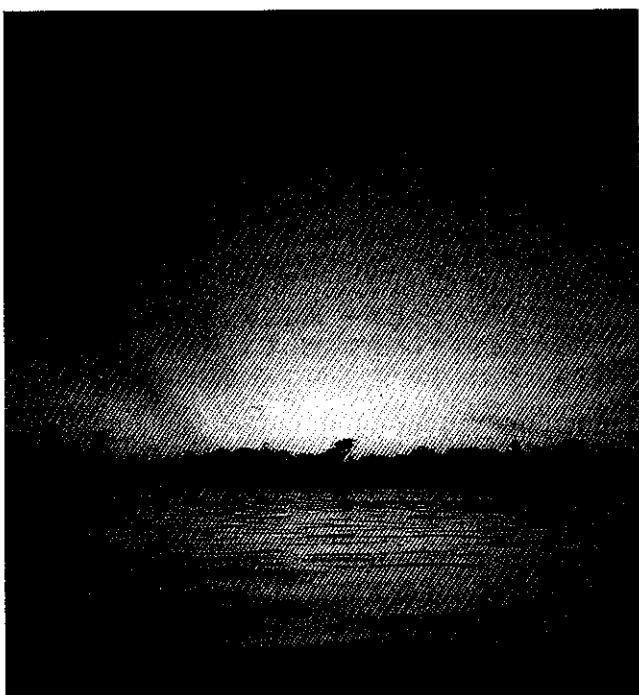
### 一カヌーをよく利用されますか

九里 シーカヤックという海のカヌーです。学生時代ですが、カーペットをアメリカから輸入している会社が、輸送コンテナのカーペットの隙間にシーカヤックを詰めて日本に輸入。それが日本でのシーカヤックの始まりです。その時からシーカヤックに乗っています。学生時代にシーカヤックで津軽海峡や朝鮮海峡を横断しました。これはともに世界記録になりました。

## ◎北極から南極まで北南米大陸人力縦断3万キロの旅

### 一北南米大陸横断がはじまりますか

九里 大学を卒業してジャーナリストとして生活していましたが、誰も考えない大きいことがやりたくて色々考えていました。結論は、自分には死ぬまでたっぷり時間があるというあたりまえのことがわかったのです。その長い時間でなにか大きいことやりたいと思い計画しました。その計画は5年間で北南米大陸を自分流に横断するというものです。1989年7月に北極海からスタートして自転車・カヌー・徒歩という人力移動にこだわり、南極海まで北南米大陸3万キロを縦断しました。南米で病気にかかりたりして、最初の計画より2年延びて7年になりました。7年の内、何回か日本に帰り写真の現像や取材の打ち合わせや、青色申告のために戻ってきました。この旅で自分をリトマス試験紙にして現代南北アメリカ事情の断面をつかもうと思いました。ちょっと時代は違いますが、小田実の「何でも見てやろう」の精神ですね。この



アマゾン

間に北米大陸の最高峰マッキンリーの登頂も成し遂げました。

## ◎研究者への道

### 一中央大学の大学院総合政策研究科へ行かれますか

九里 「新しい大学院をつくります。是非入学を検討しませんか。君にピッタリですよ…。」という一枚の直筆で書かれたはがきが母校の中央大学の事務局にいる知人から来たのです。中央大学が新しい大学院を設けることになり、社会人へ大学院の門戸を大きく開放し、社会人大学院研究生を専攻科の7割にする構想で、その第一期生募集の連絡でした。総合政策という現代的問題解決を第一に扱うという大学院に魅力を感じました。無事入学することができ、そこで小林秀徳教授のゼミに入り数式を使った企業経営や社会のシミュレーションを行うシステム・ダイナミクスの研究をしました。尊敬できる素敵な小林教授に出会えたことは私にとっては幸運なことで、2年間社会人大学院生としてじっくり研究ができました。この時のテーマが当時まだ日本では誰も手掛けていなかった企業の環境経営の研究です。学術研究でも冒険と同じように誰もやっていないことを目指していました。大学院は、自分の人生の第三の節目だと思いました。第一は大学に入るまでの剣道に明け暮れていた学生時代、第二は大学生としてまた冒険家ヒジャーナリストとしての時代、そして第三は今につながる研究者としての時代です。

社会人として大学院で学ぶことで多くのことを身つけることができました。社会で多くの経験をしていたので、それと学説とを照らし合わせると理解が深まり研究がはかどりました。修了後、小林先生の薦めもあり中央大学の政策文化総合研究所の研究員として研究を続けました。その頃、産学連携ということが言われ始めていて、産学連携で研究ができるのかということになり、友人が日本最大の旅行会社JTBに勤めていて「観光」を体系的に研究したいということで、JTBと中央大学で研究ユニットを立ち上げました。友人にも研究員になってもらい、小林教授と3人で研究しました。初めは「観光のマーケティング」からスタートしましたが、後に「持続可能な観光」という先進的な大きなテーマの研究にまで発展しました。環境に配慮し、社会に配慮し、そして企業の収益にも貢献する観光の研究です。

ちょうどその頃、文部科学省から産官学の連携した組織の充実をはかるよう要請があり、全国で多くの組織ができました。中央大学でも産学連携だけを行う新しい組織「中央大学研究開発機構」が設立され、そこから誘いがあり助教授に就任しました。タイミング良く幸運だった

と思います。2001年から2006年まで母校で研究し、それから新たなステージでという気持ちもあり国立豊橋技術科学大学へ移り、商学系の考え方を工学系の大学で展開することを探しながら研究を続けていて、3年目に文部科学省の科学技術振興調整費があたり、農業とIT、経営を融合するという先端産業の大きなプロジェクトを手がけ始めた時に、たまたま応募していた新設される富山県立大学工学部環境工学科の採用通知が来て富山へ来ることになったのです。

## ◎富山での研究

### 一富山へきてどうでしたか

九里 富山へ来る前から楠井教授には学会等でお会いしていて、人格者だと尊敬していました。富山へ来る前の豊橋技術科学大学時代に富山県立大学短期大学部の卒業生を豊橋技術科学大学の3年に編入を薦めるなどのリクルート活動も実はしていました。まさかそこに勤めるとは思いませんでした。工学部の教員として赴任したのですが、短期大学部でも教えました。閉学時には教務委員長として関わりました。今まで関わった大学は大規模な私立の中央大学、国立の豊橋技術科学大学、豊橋技術科学大学は高等専門学校とのつながりがあり、高等専門学校にも多く関わりました。県立大学は公立大学の単科大学であり、その中で短期大学にも関わり、これまでほんとに多くの形態の大学に関わったなと驚いています。

### 一環境工学科の教授として

九里 環境科学の研究を通してでてきた成果を企業や行政における政策や制度に生かされなくてはと思います。環境に関する様々な研究とマネジメントの組み合わせが必要だと思います。

### 一環境経営学と環境政策学を教えておられますか

九里 政策実務は、現在、富山市参与として環境未来都市の推進をしていますし、国の法律の改正に関わっています。政策学は現在人口減、低経済成長と大転換点でまだまだ勉強が必要だと思い、いくつかの学会に入っています。また環境リスク工学の講義を楠井教授と持っていて、分担として、環境コミュニケーションを担当しています。工学や理学を使って環境問題の解決策を見つけてもそれが社会に認められないとせっかくの研究も実行に移せない。そこには利害関係者とのコミュニケーションが必要で、その方法を考えています。それと全学で行っている環境教育も精力的に実践しています。

### 一富山県立大学へ来られたのは

九里 富山県立大学が全学で環境教育を進めている

ことが魅力でした。私の博士論文の内容も半分は環境教育に関する内容です。また、工学の単科大学で、全学で環境教育に取り組む姿勢は新鮮に映り、この大学に応募した大きな理由の1つです。

一持続可能な開発の教育（ESD）に関係しておられるとうかがいましたが

九里 今年はユネスコの「ESDユネスコ世界会議」が名古屋と岡山で開催されます。国連大学RCE中部ESD拠点の委員として関わっていて、今年は名古屋へ何度も行きます。この会議は環境を含めた現代の多くの問題を教育という側面から総合的に考えるための会議です。

一五箇山での活動について、新聞報道で知りましたが

九里 3年前に五箇山へうかがった時、「県外の大学は五箇山と協力関係があるのに、県立大学はまだ来ていません」という意見をいただきました。ちょうど総務省から地域と大学が協力して活性化させる事業がスタートすることを知り、去年、南砺市から申請採択され、学生が主体的に活動し地域の活性化を促す事業として、五箇山での協力事業がスタートしました。これは2年目になる今年も継続して行っています。また県内7高等教育機関でつくる「大学コンソーシアム富山」を通じて、小矢部市から過疎地域の活性化の依頼があり、過疎地域の活性化のための調査研究モデル地区として小矢部市の南谷地区を選び、住民と学生が一緒に活性化策を検討しています。地区の行事や農作業と一緒に進めて、その中から方策を考えてゆくというものです。本学が昨年度採択された文部科学省が地域の課題解決に取り組む大学を支援する「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」では小矢部市の中山間地の大気の様子を調査研究する事業を企画しました。小矢部市岩尾瀧の市教育センターに大気観測所を設置して、PM2・5などの大気の状態を計測、分析して大気汚染の状態を渡辺教授、学生とともに調査しています。



五箇山で

九里 園長の山本茂行さんに懇意にしていただいて、呉羽丘陵を活用した、環境教育、冒險教育などに取り組んでいます。7月6日に富山国際会議場で開催されるファミリーパーク開園30周年記念シンポジウム「いのちの博物館の実現に向けて—消えていいのか、日本の動物園・水族館—」のパネリストとして参加します。

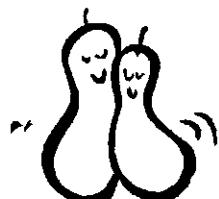
一企業との関係について

九里 YKK黒部事業所で、ステークホルダーダイアログを行っています。今年で5年目になります。会社が取引先やお客様や地域の人たちの意見を聞き、それを会社の経営に反映させる仕組みです。毎年やっているので、去年指摘した点の進捗状況や、新しく出てきた問題を検討したりと、企業の環境経営には大変役に立っていると思います。今は黒部と東北の事業所だけですが、九州、四国の事業所にも導入してゆく予定です。

一学生さんに言っておられることは

九里 「世界一を目指した研究をしなさい」といつも言っています。富山県立大学の短期大学部が長きに渡って存続してきたのも、教員のきめ細かい教育だけでなく、世界を目指した研究を続けてきたからだと思います。今、研究室では世界一を目指した研究をスタートしています。それは日本の企業の環境側面、社会側面のデータベースを作る作業です。いまは日本の企業229社、13年分のデータベースができていますが、ゆくゆくは700社に増やす計画を立てています。この研究から、日本企業の環境配慮行動が企業の業績と連動していることを説明したいと思います。13年という長期間で700社という大規模な企業データベースは世界でこれまでありません。また、ゆくゆくはアジアの研究者が日本企業の経営を研究するときに使えるオープン・データベースとしたいと考えています。自分のためだけの研究ではなく、世界中の研究者がこのデータベースを活用し多くの研究が生まれることを期待しています。このように常に社会に役立つ研究のお手伝いができると考え、行動しています。

一長い間ありがとうございました。



# 富山県立技術短期大学

## 首都圏応用数学科同窓会について

応用数学科第1期卒業生 橋村(堀)ヤス(コ)

今までに4回首都圏応用数学科の同窓会を開いています。そのあらましをお伝えします。(2013/10/16)

① 2010年10月18日に恩師萩原博先生、相良信子先生、山下隆弘先生方も御出席下さって第1回首都圏応用数学科クラス会を新橋で開催。(機関誌『千瓢』No.6に馬場(中村)伊美子さん寄稿)

その5ヶ月後2011年3月11日の東日本大震災が発生して、関東地方も大いに揺さぶられ、首都圏でも被害が出て、何しろ当日は交通機関がマヒ状態で、電気も点かない所もあり、電話は繋がらなく、電車は来なく、ご存知の通り後遺症はいまだに少しあります。

② 第2回の開催を随分と迷ったのですが、2011年10月27日に第2回首都圏応用数学科同窓会を墨田区錦糸町のホテルで、萩原先生をお迎えして、夜の部・第7~9期生/昼の部・1~3期生を対象に開催致しました。

③ 2012年10月4日に横浜の某デパートの食堂街にて、首都圏応用数学科(1~4期生他)第3回応数同窓会の昼食会を台風19号の伴走付で電車ダイヤの混乱の中、開きました。出席された方々の経験?をみると、○○電気、△△電機、□□製作所等の大手で、現役では中々応数同窓会の出席は無理があるかと納得出来ます。

④ 2013年10月3(休)第4回首都圏応用数学科同窓会を開催致しました。

昨年は当校設立50年、又短期大学部閉校となり、卒業第1期生は今年古希を迎えております。それで、恩恵を受けましたホテルニューオータニ(千代田区紀尾井町)にて、当校の設立を進めて下さいました当時の富山県知事・吉田実氏の御令嬢をご招待して、



ホテルニューオータニ

昼食会を開催致しました。快晴の良い天気でお食事の後、綺麗な庭園を散歩しました。遠く栃木県や神奈川県久里浜や鎌倉からも参加されており時間が早く過ぎてしまって、写真を撮り損ねたりしましたが、一部お送り致します。

応用数学科の卒業生は専門分野の性質上、最先端の電気関係が多く、その分野の市場では熾烈な企業競争が起きてしまう様です。故、現役では同窓会といえども一寸出席を躊躇されるかもしれません。卒業後50年、年金生活になって、初老…となつても出身企業の影響を免れないかもしれません。全く昔に戻って、企業色を抜いて和気藹々とは中々?どうしても難しい物が有るかもしれません。ですが、同窓生の方々には何時までも元気で(病気になつたら早めの手当てをして)長生きして頂きたく、消息を知る手掛りの首都圏同窓会案内を出来る限り発送し続けたく思っております。当事務局の後継者を探しながら。



「工学Girl vol.2」は今回もなかなか興味深い情報が満載です!

### 『工学Girl』 第2号ができました。

県立大学を紹介する女子高校生向け大学紹介小冊子『工学Girl』の最新版ができました。大学の魅力や5つの学科紹介、タウンガイド、ショップガイド等盛りだくさんの情報誌。21×21センチ、ページ数22の小冊子ですが読み進むと、県立大学の魅力が伝わり大学へ入りたくなるかもしれません。環境工学科、川上智規教授の川上研究室のスリランカでの活動が紹介されている。スリランカの農村部では飲料水として井戸水を使用していて、その井戸水にフッ素が混入して子どもたちの歯が黒くなる等の健康被害が発生している。スリランカの研究者から調査依頼があり、研究を始めた。フッ素を取り除くために動物の骨が有効だということは以前から知られていたので、動物の骨を利用したフィルターで取り除くことにする。宗教的な理由で牛や豚は利用できなく、今は鳥の骨の炭を使ったフィルターを使い試験している。できるだけ現地の状況にあった解決策を模索する様子がうかがえる。もし見る機会があったら読んでみてはどうですか、女子高校生だけでなくあなたにとっても面白いです。

お菓子なかまほこ

富山県立大学×新湊かまほこ

# 「かまほこチップス」好評

富山県立大学の葭田隆治元客員教授と新湊かまほこの共同研究商品「かまほこチップス」が好評で販売を伸ばしている。構想数年商品開発秘話!

かまほこのに、ポテトチップスのようにさくさくとした食感の「かまほこチップス」、今ヒット商品として注目されています。この商品は富山県立大学の葭田隆治元客員教授と射水市の新湊かまほこの共同開発商品です。その開発秘話を、葭田先生と一緒に射水市海王町の「夢テラス海王」(新湊かまほこ)へ行き、中曾修一社長と柴達義製造主任にうかがいました。そのレポートです。

## かまほこ業界

かまほこが作れば売れる時代から選ばれる時代になり、かまほこの消費量のピークは1980年頃です。近代化、洋風化、簡素化、小型化、の変化の中で、従来のかまほこの消費は落ち込んできました。その中で、地元の白えびや薬膳を混ぜた新しい試みで、新湊かまほこは躍進を続けている。

## 白えび、薬膳、海洋深層水

富山らしさを出した商品ができるいかと考えて、富山湾の白えびを練り込んだ「白えびかまほこ」を開発した。富山のかまほこは、魚のすり身を蒸した、蒸しかまほこです。「白えびかまほこ」は笹かまほこで焼いたかまほこで、焼くことにより香ばしい匂いや独特の食感になった。白えびをかまほこにするには、姿を生かすか粉末にするか等多くの問題があったがうまくクリアして商品化できた。

薬膳かまほこは、富山は薬の町として知られている

ので、そのイメージを商品にできないかと考えて、取り組んだが、なかなか難しく薬の専門家とかまほこの専門家がお互いに考えて、高麗人参、紅花、ウコン、ききょうを混ぜ込んだかまほこが完成した。これは富山のイメージとぴったりと一致した商品で、贈答等に売れて大ヒット商品になりました。その間、富山の海洋深層水を使ったかまほこの開発に取りかかったが、ミネラル等を多く含んで大変良い水なのだが、扱いが難しいのが欠点で、試行錯誤が繰り返された。かまほこの三要素は、水と塩と魚です。その水を替えるのですから、根本的に考えて、それに伴い塩も今までの物で無く、天然の塩に変え、原材料の魚のすり身もえて、全部新しくして海洋深層水かまほこができました。これは海洋深層水の商品化第1号になりました。(水を使った商品は商品化されていました。)

## かまほこチップスの開発

「かまほこチップス」開発のきっかけは、かまほこは要冷蔵の商品でなかなか子どもさんに食べてもらえない

 株式会社 中部設計

代表取締役 中瀬 勇

本社 〒930-0029 富山市本町10番2号  
TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

ゆたかな経験 確かな技術  
 総合建設業 中越興業株式会社  
CHUETSU

代表取締役 山下 順雄  
本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763) 62-1221  
FAX (0763) 62-1222  
富山支店・金沢営業所

緑を育み、未来へつなぐ

 株式会社 サカエグリーン

代表取締役 山本 荘

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地  
TEL (076) 434-0036  
FAX (076) 434-4968  
HP <http://www.sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカターレ富山を応援しています



建設コンサルタント  
株式会社 上智

代表取締役 社長 楠 則夫

本社 磯波市千代176-1 TEL (0763) 33-2085・FAX (0763) 33-2558



左から葭田隆治元客員教授、中曾修一氏（新湊かまぼこ代表取締役）、柴達義氏（製造主任）／射水市海王町の『夢テラス海王』のかまぼこチップス売り場で

い。お菓子の様に食べてもらえる商品がないかという事から始まった。新湊かまぼこでは海洋深層水の商品化で関わりのある葭田先生に共同開発を依頼して、中曾修一社長と柴達義製造主任と葭田隆治元客員教授による新しい商品の開発がスタートした。葭田先生は新しい商品を開発するために新湊かまぼこの工場を見学し、巻きかまぼこを巻くときの赤い巻きを焼いて加工しているのに気づき、それを利用できないかと考えた。この焼きの機械でチップス状の商品ができるのではないかと思い、かまぼこチップスの原型ができあがった。それからの商品開発は乾燥をどうするか等多くの問題が発生。葭田先生は「その当時、乾燥の状態を調べるために、研究室に布団乾燥機を持ち込んだのは、今となっては楽しい思い出です」と語る。富山県産にこだわり、海洋深層水と富山県産米粉を使い、さくさく感を出すために澱粉の質や量、それと乾燥に気をつかった。チッ

## 平成25年度 同窓会総会

平成25年度同窓会総会が大学講義室で平成25年10月26日(土)に開催された。総会に続いて懇親会に移り、今回で役員を退任される方々(坪本正樹さん、長井弘仁さん、岩脇喬さん、高長紀子さん、山口郁子さん、土谷達郎さん)に荒木会長から感謝状の贈呈があり、永年の功績に対して感謝の言葉があった。石塚勝学長も参加され、また同窓生の子どもさんも一緒に参加され、和やかな同窓会になった。大学祭の開催期間中なので現役の学生さんの参加もあり、交流を深めた。



受付風景



石塚勝学長の挨拶



感謝状を手にした6名

プスの形状を3センチ×4センチ、厚さ2ミリ、3ミリ、に決めるのも何回も形を変えてやっと決まった。

## かまぼこチップスがヒット商品に

完成した商品は、黙って食べればポテトチップスと変わらない、ただ手には油がつかなく、さらっとしたのが特徴です。初めは3種類を発売した、かまぼこの生地をいかしたプレーン、白えびを練り込んだ白えび味、昆布を練り込んだ昆布味。油で揚げていない低脂肪高タンパクで子どもさんのおやつとして受け入れられた。発売後1年ほどして、地元の新湊高校商業科の生徒さんから「かまぼこチップス」の研究をしたいと申し出があり、一緒に開発をした。ワサビ味、明太子味、チーズ味等多くの意見が出たが、機械の工程や多くのことを考えてできたのが「ワサビ味」です。その中でパッケージデザインの話になり、女子生徒のイラストデザインが採用され、今のイラストの商品になった。富山県立大学との共同開発商品だが、新湊高校との共同開発商品もある。その後にマヨネーズ味も追加に成り、今は5種類の味がある。商品は「プレーン」30g、「白えび味」25g、「昆布味」25g、「ワサビ味」25g、「マヨネーズ味」25gそれぞれ200円(税抜き)。

## かまぼこチップスプレゼント!

読者3名に、かまぼこチップス10袋セット(5種類各2袋)をプレゼントします。かまぼこチップス希望と書いてはがき、またはメールで申し込んで下さい。〒939-0398富山県射水市黒河 富山県立大学内「千瓢」編集部。(8月末消印有効)

## 島谷信さんの追憶録

富山県立技術短大の開校時から、機械科の電気工学の先生として活躍された島谷信さんの追憶録が、長男の文也さんの手で平成23年8月に発行された。「おもいで追憶島谷信」と題されたA4・75ページの冊子で、島谷先生の86年の人生をたどっている。島谷先生がフロッピーに記録しておられた手記の中で特に興味のあるのは、富山県立大谷技術短大開設時の苦労や多くの軌跡の中で前進される姿勢が率直に書かれている箇所です。全体を通して「基本を大切に あるものを あるがままに」の島谷先生の考えが伝わってくる。

おもいで

追憶 島谷 信

著者 文也

監修 文也

発行 文也

平成23年8月

# 私の好きなもの

山口 郁子（やまぐち いくこ）



技短・応用数学科・1978年卒

① 孫

私には、三歳の孫がいます。名古屋に嫁いだ娘の子供です。たまにしか会えませんがただただかわいくて私の大好きな孫です。女の子なのでかわいい洋服を着てテレビのCMやアニメを見て踊っている姿を見て目を細めています。

② フラダンス

習い始めて5年は経っていますがまだま

高橋剛一郎（たかはし ごういちろう）

環境工学科教授

私の好きなもの3つをあげると、①渓流釣り、②美酒、③山菜…これ以外にもあるけれど、どうもこの時季、春に好きなものをあげるとなるところなります。

まだ10代の頃、初めて渓流釣りに行きヤマメを釣り、その綺麗さに魅せられました。その翌年、当時はよくわからなかったことの多い毛鉤釣りに挑戦し、かなり大きい（主観的自己評価）ヤマメを釣り上げることができました。嬉しさと魚体のみごとに感動し、ずっとこの釣りから離れないだろうと思いました。その予感はいまだに外れていません。かつて、車を持たずピンボーダけで暇だけはまだ豊富にあった頃、釣りに行く時はテントを担いでのキャンプでした。安酒ではあつ

高松 友見（たかまつ ともみ）

短・生物生産・1997年卒

① お風呂＆廐温泉

特に本や雑誌、漫画を持ち込んでゆっくりと入る風呂が好きです。長風呂したくて一人暮らし始めた事あり。廐温泉は近くの銭湯で、温泉のくせに銭湯、洋楽が流れている。コーヒーフロートがまた美味しいんです。

② 三國万里子さん

編み物作家さんで五冊の本がでています。そのどれもがレトロで新しい。わたしの好みのど真ん

体が固くて先生のようにしなやかに表情豊かに踊れません。それでも一緒に習っている世代のちがう友人と会うのが楽しみで頑張っています。年に数回ある発表会ではドキドキしますが、素敵なドレスでいつもとは違うバッチャリメイクで踊っています。

③ 猫と犬

我が家には、番犬と猫がいます。子供の頃から母が嫌いだったのですが犬も猫も飼ったことがなくて最初はとまどいましたが、今は大事な家族で癒されています。

《近況報告》

今年三月に家を増築し、息子も結婚して二世帯住宅で仲良く暮らしています。

ても川音を聞きながら釣ったヤマメやイワナを焼いて呑む酒は格別で、今の美酒好きにつながってきます。そうこうするうちに魚以外の山野草に目が行くようになり、いきおい酒の肴にもってこの山菜も好きになっていったという次第。

《近況報告》

最近は公務が増えたことに加え介護の負担が増し、かつてのようにのんびり遊びに行くことができにくくなりました。心があちらの方にいってしまい、気分というか気がなかなか釣りや山菜に向いてくなっています。とはいえ、私の専門は河川環境の保全。最近では富山名産ますの寿司の原料であるサクラマスの減少と河川工事を素材として学生のゼミを行い、学生と議論をしています。サクラマスはヤマメの降海個体。川の環境を良くして、釣っても食べてもバツグンのサクラマスがもっとあふれる川を目指して仕事と趣味に頑張りたいと思っています。

中な作品ばかり。まだ2作品しか編めてないけど全作品編む事が私の目標。

③ 生け花

花や木、草、野菜。はたまたごみ捨場にある粗大ゴミさえも花材に見える不思議な目をもっています（笑）ぼあっとしている時は食べ物か畑か生け花の事を考えているような…。

《近況報告》

ありがたい事に三人の母となり、あつという間にすげていく毎日です。とにかく自分の事が後回し（笑）好きな事できません。ぜんぶなげだしあくなることも多々あるけど楽しい毎日を送らせてもらっています。

宇於崎秀夫 (うおざき ひでお)

大電1・1994年卒

## ① 子供の部活観戦

高校3年と1年になる二人の息子とも自分が中学校?高校とやっていたソフトテニスを小学生の時から続けています。土日となると大会や練習試合が行われ、その観戦をするのが夫婦揃っての楽しみです。中学生や高校生になると親の観戦は嫌がるものですが、「子供の人生と親の人生は別。観戦するのは親の勝手」と言い聞かせ続け、もはや観戦にくることを二人とも諦めてくれています。子供が活躍したり勝利したりすると、一緒になつて盛り上がっています。でも、そんな楽しみもうすぐ終わるのかと思うと少し寂しくもあります。

## ② カフェ

丁寧に焙煎されたコーヒー豆をミルで挽き、じっくりとドリップして入れる作業にはまっていきます。エグミが無く旨味濃厚な理想の味を追求中です。

## ③ ホームセンターめぐり

もはや店員並みの知識です。

## 《近況報告》

砺波市にあるパナソニック オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 キャパシタ事業部 フィルムキャパシタディビジョン(入社時社名は富山松下電器)に入社しはや20年。ハイブリッドや電気自動車のフィルムコンデンサの拡販拡販で、資材職能に従事し、契約業務に多忙な日々を過ごしております。

# 大学ニュース =

## ○役職教員

●学長	石塚 勝	教授
●工学部長	松本 三千人	教授
●学生部長	中村 清実	教授
●副学生部長	前田 幸男	教授
●工学部		

教養教育主任教授	石森 勇次	教授
機械システム工学科主任教授	坂村 芳孝	教授
知能デザイン工学科主任教授	野村 俊	教授
情報システム工学科主任教授	松田 弘成	教授
生物工学科主任教授	加藤 康夫	教授
環境工学科主任教授	楠井 隆史	教授

## ○昇任

### ●工学部

知能デザイン工学科	高木 昇	教授
情報システム科	岩本 健嗣	准教授
環境工学科	手計 太一	准教授
生物工学科	野村 泰治	講師
機械システム科	畠山 友行	講師

## ○新規採用

### ●工学部

生物工学科	高橋裕里香	助 教
環境工学科	星川 圭介	講 師
機械システム工学科	大嶋 元啓	助 教
知能デザイン科	増田 寛之	講 師
教養教育	濱 貴子	講 師
情報システム工学科	榎原 一紀	准教授
環境工学科	畠 俊郎	准教授
機械システム工学科	宮島 敏郎	講 師

## ○退職

\*平成26年3月31日をもって退職されました。

長い間お疲れ様でした。

奥田 実 先生

平成2年4月～平成9年3月  
平成9年4月～平成26年3月

工学部助教授  
工学部教授

恒田 邦子 先生

平成2年4月～平成9年3月  
平成9年4月～平成26年3月

工学部助教授  
工学部教授

能登 勇二 先生

昭和50年4月～昭和54年3月  
昭和54年4月～昭和58年3月  
昭和58年4月～平成2年3月  
平成2年4月～平成20年3月

県立大学短期大学部助教授

技術短期大学助教授兼務

平成20年4月～平成21年3月 県立大学工学部兼務  
平成21年4月～平成26年3月 県立大学工学部准教授

富宿 賢一 先生

平成19年4月～平成26年3月

工学部助教

山田 雅人 先生

平成18年10月～19年3月  
平成19年4月～26年3月

工学部助手  
工学部助教

## 名誉教授

平成26年6月19日に名誉教授の称号が授与されました

奥田 実 先生

恒田 邦子 先生

# 研究室の近況案内

## 酵素化学工学講座

浅野泰久教授、米田英伸准教授

微生物や酵素を用いる物質転換法は温和な条件下で行われ、環境に優しく省エネルギーに役立っています。また医療の場においても酵素を用いて各種の疾病を簡易で迅速に診断する方法が近年注目を集めています。私たちの講座では、酵素をこれらの目的に利用するために、様々な微生物や動植物、およびゲノム情報からの新しい反応を触媒する酵素の探索、遺伝子組換え技術による酵素の大量生産、酵素タンパク質の立体構造解析、進化分子工学による酵素の改良、酵素による生体物質の検出、および酵素を工業的合成プロセスに組み入れるための研究を行っています。

平成4年10月の生物工学研究センター開所と同時に酵素化学工学部門（講座）が開設されて以来22年が経過しました。現在の講座の構成は、教員2名、大学院生10名（1名はタイからの留学生）、学部生5名、補助研究員2

生物工学科

名で、多様な構成員がそれぞれ独自の研究を活発に行っています。また、本講座では従来から外国人研究者を多く受け入れており、海外の研究グループ（ロシア、ドイツ、タイなど）との共同研究も積極的に展開しています。また、本講座の学生も海外での研究打ち合わせや研究材料の収集などに主体的に参加し、国際学会で研究成果を発表（昨年度は2名の大学院生がイギリスおよびタイで開催された国際学会で発表）するなど、国際的に活躍できる人材の育成にも努めています。

一方で、浅野教授が研究総括を務めるE R A T O「浅野酵素活性分子プロジェクト」が科学技術振興機構の戦略的創造研究推進事業に採択され、平成24年4月より本格的な活動を開始しました。現在は、16名の博士研究員を含む総勢30名の構成員が酵素を用いる有用物質生産および健康診断のためのアミノ酸定量システム開発の2つの課題について、酵素化学工学講座と連携をとりながら効率的に研究を展開しています。



平成26年4月にE R A T O構成員と合同で撮影した集合写真（前列・中央が浅野泰久教授）

## 水環境工学講座

畠 俊郎准教授

幼稚園や保育園で泥団子を作り、砂場の中に埋めたり磨いたりして友達と遊んだ記憶は皆さんお持ちだと思います。私の研究室ではこの「泥遊び」が基本となっています。皆さんは泥（土壤）1gの中には数億～数百億の微生物が生息していることをご存知ですか？この中には人体や生態系に有害な化学物質を分解させたり、結晶鉱物を析出させて強度を高めたりする能力を持つ微生物がすでに生息しています。微生物を対象とした研究だと「下水処理」、「医薬品」や「食品」が一般的ですが、環境修復や防災・減災に活かすことを目的としていますので建設工学分野における新しい応用微生物の一分野とされています。

「土木・建築工学」に加えて「化学分析」、「微生物操作・遺伝子解析」から「圃場管理」まで幅広い知識が必要となるため、他学科・他機関と連携しながら研究を進めています。

これまでに、有害化学物質に汚染された地下水の微生物による浄化や、温泉地域などで認められる酸性土壤の中和・緑化促進さらには沿岸域に生息している微生物を使った液状化低減技術の開発などに取り組んできました。このように研究室では「微生物」と「土壤」をキーワードとして大人の泥遊びに取り組んでいます。

新たな取り組みとして、富山湾深海に生息している微

環境工学科

生物による表層堆積物の固化があります。このテーマでは、富山・新潟県境付近に存在しているとされるメタンハイドレートを周辺環境に与える影響を少なくした条件のもとで安全に掘削することを目的とし、海洋調査船を使つたサンプリング等を行っています。今年度は大学院の講義としてこの海洋調査を実施できる見通しとなりました。宇宙空間と同じく人が容易に到達できない深海を対象とした調査・研究は、私自身はもちろん学生たちにとっても貴重な経験になると考えています。学生生活の最後に「大人の泥遊び」の楽しさを少しでも感じてもらえるよう頑張っているところです。



海洋調査

## 機械エネルギー工学講座

中川研究室 中川慎二 准教授

中川研究室では、水や空気といった流体にまつわる物理現象について、様々な角度から研究を進めています。流れを調べる可視化計測技術の開発や、スーパーコンピュータを使ったシミュレーション技術などを利用し、モノづくりの高度化を手助けしています。

中川研究室は、旧機械システム工学科の流体力学講座を前身としています。流体力学講座では、現学長の石塚勝先生とともに研究室を運営していました。2006年の学科改組に伴つて、流体力学講座と熱力学講座とが統合し、機械エネルギー工学講座となりました。その時から、中川研究室として活動しています。とはいっても、研究室の学生は石塚研究室と同部屋で生活していましたし、一昨年までは、石塚研究室と合同で研究会を実施するなど、両研究室が協働してきました。

2013年4月には、石塚先生が学長にご就任されました。突然の出来事であり、石塚研究室所属の学生たちには戸惑いもありました。石塚研の学生は、中川研へ合流することとなりましたが、畠山助教のご協力があり、それまで同様の研究を実施することができました。

2014年4月からは、石塚研の研究を支えてこられた畠山先生が講師に昇任され、畠山研究室が誕生しました。現在は、畠山研と中川研の学生が、同部屋で過ごしています。研究会や飲み会などは、両研究室が合同で開催し

機械システム工学科

ています。飲み会には、石塚学長に参加していただくこともあります。

近年は、オープンCAE活動にも力を入れています。シミュレーション技術を活用したモノづくりに、オープンな活動を取り入れようとする取組みです。オープンソースソフトウェアを活用するだけでなく、様々な知識もオープンにして共有し、さらなる発展を目指すものです。月に1度、オープンCAE勉強会@富山を開催し、全国各地から集った技術者・教員・学生が、情報交換・交流をしています。研究室の学生も、この中で、多くの事を学んでいます。オープンな環境の元で、世界的に活躍できる技術者を育てられるよう、努力を続けています。



2014年度研究室メンバー（中川研&畠山研）  
中央左が中川、右が畠山先生

## 知能システム工学講座

大島 徹教授、小柳 健一准教授、増田 寛之講師、  
本吉 達郎助教

近年様々なロボットが注目を浴びており、お掃除ロボットなど私たちの身の回りで活躍するものも増えてきています。ロボットは人に学び人を真似る事で、より高度なことを実現してきました。知能システム工学講座では、人の持つ高度なメカニズムに基づき、メカトロニクス技術を基盤として柔軟で高機能な知能ロボットや医療福祉ロボットの研究を行っています。

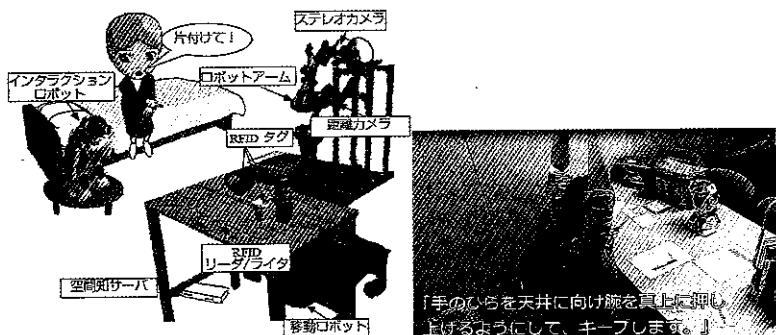
平成25年10月には、増田寛之講師が着任いたしました。増田講師の主な研究テーマは、「人と共存する知的なロボットの研究」で、片付けを対象としたサービスロボットやコミュニケーションロボットの研究・開発を行っています。片付けロボットは、人から声や指差しなどの自然な指示を認識し、ロボット自身がセンサを用いて食器の位置や形状を認識して片付けを遂行することができます。さらに、人の視知覚の仕組みをロボットに組み込むことでロボットにとって未知のゴミなども認識して片付けることができます。コミュニケーションロボットは、小型の人型ロボット「パルロ」を用いて人とのインタラクションについて研究を行っています。ロボットに搭載したセンサだけではなく、部屋などに設置された様々なセンサの情報を統合する

## 知能デザイン工学科

ことで、人の行動を詳細に計測し、より状況に適したコミュニケーションを行うことができます。

人と共存するロボットを実現するためには、ロボットが人と同じような柔軟な知覚・行為を実現するだけでなく、部屋などに設置された固定のセンサ情報などを統合して判断する必要があります。この統合化技術は、近年話題となっているスマートハウスやスマートタウンに必要な技術です。この中にロボットが入り込むことで、将来私たちの近くで友達のように接するロボットがいることだと思います。

最新のロボット技術に興味がある皆様、是非研究室にお立ち寄り頂ければと思います。



人と共存するロボット（片付けサービスロボットとインタラクションロボット）

## 同窓会日誌

No.12

この日誌は富山県立大学同窓会の荒木 薫事務局長の  
日誌です。同窓会のホームページに掲載したものです。

2013年12月14日～2014年2月16日

【2013年】

12月14日

山口さんの送別会です。長い間お疲れ様でした。県立大学と同窓会のたくさん変動や歴史を見て支えてくださっていたのだと実感しました。不慣れなことだらけですが頑張りたいと思います。

12月20日

事務局でお昼休憩にお茶会と事務局の事務の方々とささやかな山口さんの送別会でした。各自持ち寄りで和やかに楽しかったです。

【2014年】

1月17日

明日からセンター試験です。雪がたくさん降っています。なぜかセンター試験は雪ですね。県立大学でもセンター試験の準備がされています。

2月10日

寒くても雪が車道にない分今年は楽ですね。

2月12日

短大部時代の同窓生の高松(旧姓京都)さんが縁あつ

て大学へ訪問され春より通勤。学生の時の見慣れた顔が増えると思うと嬉しいものです。

2月18日

「千瓢」発行日の変更で平年よりだいぶ前段階での編集会議開始です。不慣れなので不安いっぱいですがスタートです。

3月6日

平成26年総会の開催日が決定し、会長と打ち合わせです。「千瓢」、総会の準備にバタバタしそうな感じです。

3月12日

雪が先日降ったかと思えば、一転し春一番で暖かい日でした。校舎内は学生さん方も春休みでひっそりしているのですが卒業式の準備など着々と進んで変化の季節だなあと実感している今日この頃です。

3月19日

新メンバーでの初理事会です。会則、名簿管理、総会など変更事項など議題が盛りだくさんでした。次回の理事会持越し案があったのでもう少し検討です。

3月24日

大学卒業式でした。午後からの謝恩会に出席させて頂きました。にぎやかで新たに羽ばたこうとエネルギーッシュな感じに若さを感じ、遠い約20年前を思い出していました…

4月16日

新入生の学生さんたちも学内を歩いている姿を見かけるようになりました。初々しい姿に目を細めるばかりです。

## 情報メディア工学講座

西田泰伸准教授

情報システム工学科

わたしの研究室では、「計算機の基礎理論」を一貫して研究しています。

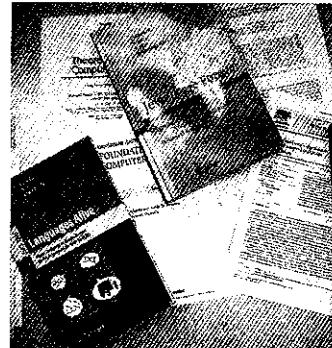
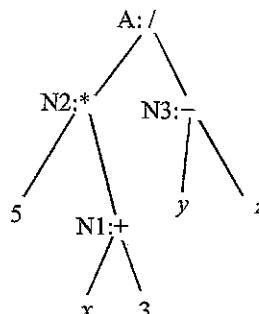
今の計算機・コンピュータはいろいろなことができますが、その中では記号列の変換しかやっていません。また、その能力があればどんな情報処理でもできることが証明されています。ということで「記号列の変換」が基礎の基礎になります。たとえば  $5^* (x+3) / (y-z)$  という式の値を求めるときは、図の左の形に変換します。そして、下にある演算から先にする、つまり、「1.  $x$  と  $3$  をたす、結果を  $N1$  とする。2.  $5$  と  $N1$  をかける、結果を  $N2$  とする。3.  $y$  から  $z$  を引く、結果を  $N3$  とする。4.  $N2$  を  $N3$  で割る、結果が答え。」とします。このたぐいの記号列変換の理論、業界では形式言語と言いますが、ちょっと難しい、ということで、論文を書くネタにはなりますが（図の右にあるのがわたしの論文の別刷りや掲



研究室で熱心に討論

載された論文集）、学生さんの研究テーマにはしにくいところがあります。

さて、上の式の計算は効率のよい解き方がわかっていますが、そうでない重要な問題も数多くあります。たとえば、複数の機械で加工する仕事がいくつかある時、仕事を機械にかける順序を決める問題、スケジューリング問題では、最も短時間ですべての仕事が完了する解を求めるようとすると「地球最後の日」まで待っても結果が出るかどうか怪しい解き方しか（今のところ）知られていません。そうなると「最も短時間」を「できるだけ短時間」にした近似解を効率よく求めることが大切になります。近似解を求めるにもいろいろな流派があり、タブーサーチ、焼き鉈法、遺伝的アルゴリズムなど、興味をそそる名前で呼ばれてています。わたしのところでは、いろいろな流派を組み合わせる枠組みを提案しています。この研究は学生さんと協力してやっており、いい結果が得られています。



記号列の変換

## 集まっています

### 第5回電子卒のファミリー同窓会



皆様連休いかがお過ごしでしたか？県外にお住まいの方々は富山に帰省された方も多かったのではないでしょうか。この連休中にチラ同窓会へ潜入して参りました!!

#### ◆ 5月5日ファミリーパークにて

第5回電子卒のファミリー同窓会です。こどもの日で天気は残念な小雨でしたが各自夫婦、子供連れの賑やかでした。

このように各地で同窓会や友人らとの交流があったのではないでしょうか♪

掲載可能な方々の募集もしておりますのでご連絡お待ちしております (\*^\*)  
(フェイスブック・2014/05/06より転載)



# 探しています

住所をお知らせ下さい。(会員住所不明者の一覧です。)

横堀安清曾村川姥矢池岡水金坂寺松村黒荒中菅長赤西川川  
幸穏均一二正温子美司平貴人雄彦志久治靖治一樹彦治史史  
正敏幸朱由克安和龍就久俊研広貞修昌俊栄浩裕  
山山藤水原上田谷田田口子井田本中田川野谷山穂川上上  
尾藤岡川上島山橋崎藤水中岡田木井田上口藤野口尾藤内村廻島多下住沢谷水田山田子良脇井川田川野  
荒後堀宮坂湯高棚明西伊清田壠櫛坂柴鈴原福山井水山志谷村伊河岸長別本日林安内神林清武松吉金木宮古古馬長矢林樋北櫻谷梨野桑野藤北  
紀おさ美清美香望京め久み貴陽昌理と雅ま昌美寿穏雅久る由裕志奈陽泰千美倫敏優沙明真修知多加寛純更健孝和辰和克竜紀

千 猩

也子一美惠代司子夫哉美都旨子奈一人孔子義宏純美臺理り正子子和子理美子樹希み文子亘司子榮子恵信生章康明奈子史良智都子亨南理美子剛毫津都雅要妙雅佳好真章紗加弘勝經智和明好智真か和親久悦美千真奈優政祐め正友史孝幸咲広勝弥孝智徳美真雅有清千優昌真理里  
木島島島木木村中川下口田島藤林川林木田本村山本中森谷林口坂東場山崎根方瀨地辺山川平々橋岡坂上森宮上崎野田田加林田屋井畠林村本佐花中松赤荒北竹由木谷森家加小余小鈴神台野中沖坂小小水前脇安木小柴藤四高垣渡杉浜松小高徳野山金二野官橋明高吉須中安木石大小木根松

西 谷 佳七子 (専1生物)  
名 取 千 晶 (専6環境)

裕幸 功光正 秀昌哲 健秀 博孝 隆宏 拓泰  
吉田倉倉石谷藤島田山西村破井本原本川野川谷  
飯上大小暮小佐竹竹飛中中不松宮柳山今奥北熊  
樹司透才浩直博人市一誠一勝一之紀治一明也宏

貞岳真陽耕奈健忠隆雅  
村川田田井浦部嶋并田東尻水中野 本原出下田田丸木林内新岡井原野井村崎谷田田山内本邊見田井  
野深舟前増松三渡北堀宮伊川清田知辻岩大上寺前有市大小竹中波荒井浦京納弘水池池杉竹山渡毛後松  
輔彦理平平緒郎司了俊充誠宏人貴裕一二規彦子亮聰樹司人晃志和和江之一帆成大介基典弘郎博一優  
尚彰優明慎健寿壽真陽 理和格聰啓浩聰佐正曉真憲真恭広悠太敬邦達追健

茂木	豊(院前工) 司(院前11生物)
沢進和	登(院後1生物) 明(院後6機械)
二ノ宮澤	明(院後8機械)
矢巣	康(院後11知能)
菅青原木野井良子山	保介子哉夫之 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文)
青漆石吉朝中	介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文)
功徳奈淳都弘勝	介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文) 介(院論文)

## ※( )内について (短6環境)

学科名  
卒業回

お友達のお名前がありましたら  
住所をお知らせ下さい。



# 「中国・大連での企業研修」

→ レポート

2013年8月20日から9月3日まで富山県と大連YKKジッパー社の共催で、中国・大連での研修が去年につづき今年も行われました。参加した富山県立大学生2名のレポート。

## Gap Challenging Program 富山県学生第2回中国大連企業実務研修レポート

加藤 雄大

### 志望動機

僕の志望動機は、中国に行って学生の内ではなかなかお話を聞ける機会が無い会社の人たちのお話を聞ける。また、その中でリーダーに求められるもの、部下への教育方法などこれから自分自身が会社へ入って必要になってくるであろう事の話を聞けたら嬉しいな。そういう話を県立大学だけで行くのではなかったので富山の皆と話せたら良いな。という気持ちで参加を希望しました。

さらに、僕は来年カナダの留学する事もあり、ホームステイ等いろいろな体験や、たくさんの中国人の人と話す機会があったら良いな。と思っていました。

### 研修内容

#### ・大連ソフトウエアパーク

ソフトウエアパークで、今の大連では日本語が話せても就職へのアドバンテージになっていないというお話を聞いた。今の大連の企業は即戦力を求めていて、日本語+ソフトウエア知識+英語が求められるらしい。この話を聞いて、日本の大企業は社内の公用語が英語

機械システム工学科 3年 加藤 雄大

知能デザイン工学専攻 1年 出町 駿明

(学年は当時)

になっている企業もあり、これから日本も英語を話せるだけでは駄目な時代になっていくのだろうな。と感じた。また、お話を聞くなかで、今の自分にはマネジメント能力や自分で考えて企画する能力、人の前で話す能力などが足りてないと実感させられた。



大連ソフトウエアパークでの講演の様子

#### ・ホームステイ

ホームステイは大連外国语大学2年生の子の家にお邪魔した。お父さんもお母さんも日本語が話せてすごく驚いた。ステイ先の子とは、大連の水族館や町、地下街やゲームセンター、カフェなどに連れて行っても



### 総合建設コンサルタント 北建コンサル株式会社

測量・調査・設計・補償

代表取締役社長 鷲 北 慎一  
本 社: 〒933-0941  
高岡市内免3丁目3-6

TEL:(0766)23-3666(代) FAX:(0766)23-3987  
支店／射水・南砺・東部・小矢部・金沢

理化学器機・産業機器 計測・試験機器

### 山 本 理 化 山 本 文 雄

〒930-0887 富山市五福二区5369

TEL: (076)432-1658 FAX: (076)432-1659  
E-mail: yamamoto-rk@fancy.och.ne.jp

### 総合建設コンサルタント



### 信頼のにおける技術で社会に貢献する 株式会社 建成コンサルタント

代表取締役会長 東 原 寛  
代表取締役社長 瀬 川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村284-1  
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697

水門・橋梁・除塵機・消雪設備・取水設備・ミニ発電設備・バイオ関連事業  
設計・製作・施工



### 水機工業株式会社

代表取締役 大井 茂



本 社 富山県富山市黒崎172番地  
TEL (076) 491-2533㈹  
FAX (076) 423-3368  
営 業 所 小矢部・金沢  
ホームページ: http://www.suikikogyo.co.jp/

らい、夜は中国の温泉に連れて行ってもらった。また、夜ごはんはお家で餃子と一緒に作り食べた。

やはり、中国はお客様には餃子を振る舞うのかと思った。ホームステイに行った2日間本当に楽しくて、新しい友達もできて良かった。



ホームステイ先の子との写真

#### ・総括会

総括会では1人5分という持ち時間でこれまでの研修で変わったこと、感じたことなどをパワーポイントや紙の原稿などを作らずに発表した。これは、自分にはすごく良い経験で、自分が具体的にどう思っているのか、綺麗な言葉では無かったかもしれないが自分に合った言葉で気持ちを1人1人顔を見ながらぶつける事が出来たと思う。研修の中で紙やパワポなどを見ていては気持ちは伝わらないよ、と言われていた中でこのようなチャンスが与えられて良かったと思う。また、佐々木総經理や、油木所長からは、「今まで自分のものさしでしか測っていなかつと所も、他の人の意見を聞くことでそのものさしを大きくできる。」「世の中にはグローバル人材がいっぱいいる事に気づき、自分と比べて自信をもって自分をアピールできる自分になりなさい。」「人に物を伝えるときは、説明ではダメで、話しかけないといけない。」など大変自分のためになるお話をいただいた。

#### ・まとめ

今回、研修に参加してまず思った事は、日本にいるときからこのGap Challenging Programの意味を中国と日本の文化の違いではなく、今の自分と将来または目標となる人との差である、という事を知っていたら、研修の最初の1~2日がもっと有意義なものになっていたかも知れないと感じた。ただこの研修で、これから企業に求められている人材や会社のトップに立つ人達との差を感じる事が出来て良かったと思う。その中で、人に気持ちを伝えるという事についてや、今後自分の人生で決断をしなければいけない時にどういった事を知っていればベストな決断がし易いのか等について、考えさせられた。なので、これからなるべくたくさんの人と話す機会を持ち、自分を発表する機会を見つけたら積極的に参加してもっと今の自分を高めていける様に努力したいと思う。

最後に、このような大変素晴らしいプログラムを企画していただきました富山県庁の皆さん、大連YKKの佐々木総經理、史さん、孫さん、チユーターの皆さん、ご引率いただいた先生方にお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。



富山の皆と史さん、孫さんとの写真

## 中国大連企業実務研修を終えて

出町 駿明

#### 1. 実務研修参加の目的・動機

私が中国大連企業実務研修に参加した動機は、今まで学生生活を送るなかで学生と社会人の違いが想像できなかったため、そのことについて考えるいい機会だと思ったからです。また、海外に行ったことがないため日本以外の場所に行き、少しでも私自身の価値観が変わればいいと思ったからです。

#### 2. 研修内容

##### 企業講演

(東方ホテル、JAL、TAC、JTB、WHENEVER、トナミ運輸、北陸銀行)

##### 企業訪問

(三菱、ソフトウエアパーク、ソフトバンク、三島食品、アイリスオーヤマ) 丹東日帰り研修、旅順の歴史観光、中国語教室、YKK現場勤務

ホームステイ、大連外国语大学訪問

#### ・アイリスオーヤマ

私が印象に残っているのは、アイリスオーヤマさんの「意欲がある人を中心と考える」という徹底した実力主義の方針です。会社に貢献しているかどうかを評価し、それを人事に適用させる、というのは、一見するととても厳しい方法だと思いましたが、会社に貢献すればするほど評価される、と考えれば、社員のやる気を上げるには良いのではないかと感じました。

また、その方針は、現状に満足しない人、常に革新を追及する人を求めるというのにも繋がっていると思います。アイリスオーヤマさんでは、新入社員研修も行っており、学生から社会人への転身に力を入れていることがわかります。

## ・丹東日帰り研修

私たちは北朝鮮と中国の国境の町である丹東を訪れました。鴨緑江の遊覧船に乗り、日本ではあまり身近に感じることのない国境を自分の目で確認することができ、国が異なるだけで随分と活気や明るさに差があることを感じさせられました。また、朝鮮戦争の影響から中国と北朝鮮を結ぶ橋が途中までしかありませんでした。戦争の恐ろしさを目の当たりにした瞬間でした。

## 3.まとめ

初めての海外で最初は戸惑うことも多くありました。二週間生活をし、現地の方々とも交流することで、



**2 この数字を  
1  
3 どちらでありますか？**

5学科

答えは富山県立大学の学科の数です。機械システム工学科、知能デザイン工学科、情報システム工学科、生物工学科、環境工学科の5学科があります。

みんなの  
よい食  
プロジェクト

富山県JAグループ

公共投資に「創造力」

株式会社 新日本コンサルタント

代表取締役社長 市森 友明

本社 富山市吉作町10番地の1 TEL: 076-436-2111 FAX: 076-436-3050  
新都町オフィス、支店: 金沢・大阪 <http://www.shinjihon-cst.co.jp>

今まで気付かなかったものの見方や考え方を知ることができました。また、海外から見る日本のイメージや、評価についても知ることができ、良かったです。

YKK寮では、食堂での注文や、卓球、ビリヤードを通して、中国人の方と交流することができ、コミュニケーションをとるきっかけは些細なことであるのだと思いました。

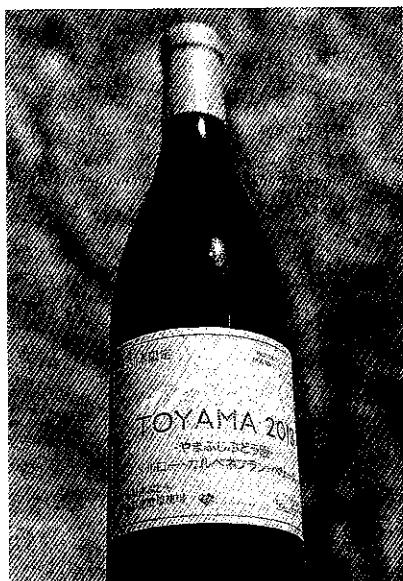
普段の学校生活では聞くことのできない、さまざまな企業の講演拝聴、企業見学をすることができ、本当に充実した研修でした。

この経験を生かし、これからも新たな価値観を見つけていけたら良いと思っています。



**ワインプレゼント  
富山県立大学共同開発商品**

富山県立大学の先生が発見した酵母を使ったワインが、やまふじぶどう園ホーライサンワイナリー（富山市婦中町）から発売された。「TOYAMA 2013」はメルロー、カベルネブラン、ベリーAの三種の葡萄から造られた赤ワインです。去年の「2012」に続いて2年目です。今年は「重厚な味に仕上がっている」と山藤重徳社長の自信作。2550本の限定商品です。読者3名様にワイン1本をプレゼントします。ワイン希望と書いてはがき、またはメールで申し込んで下さい。〒939-0398富山県射水市黒河富山県立大学内「千瓢」編集部。前回のワインプレゼントの当選者（早川俊一・近藤明範・後藤利治）



## 退職にあたって



奥田 實

3月末日をもって停年退職となりました。富山県立大学の創設準備会議出席から数えると、25年が過ぎ去りました。時間とは一様に過ぎるようで、経過スピードは、その時々で異なるようです。必ずしも、「若い頃は遅く、年をとれば速く」と言ったことでもないでしょう。経験のそして脳裏に刻まれ記憶の濃淡と、時間感覚が共振しているように思えます。

今年2月に県立大学1期生の学生5人が集まり、当日参加できなかった1名とともに退職を祝ってくれました。深謝の一言です。教師をやつていてよかったです。「ありがとうございます。」また、この言葉を、すべての卒業生に捧げます。

これまで、さまざまな、学生と教職員との、異なるシチュエーションにおける出会いの連続の四半世紀でした。私にとって、貴重な蓄財です。

平成2年に富山県立大学は、大谷技術短期大学、技術短期大学の礎の上に創設されました。そのことを鑑み、平成18年、私が学生部長をしていた時、当時の故東野事務局長と一緒に、それまで別組織だった短大同窓会「千瓢会」と「富山県立大学同窓会」の合併をもくろみ、荒木会長さんのご尽力もあって、達成することができました。もっとも、もともと学生同士の壁はなく、その前に結婚した同窓会が異なるカップルもありました。

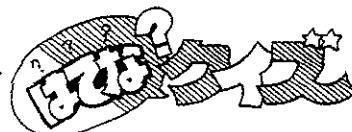
創設の頃は、無名の小さな大学でしたが、教員の研究での活躍や、応募したGPが文部科学省から8件も採択されてきたことや、就職率でも全国で常にトップクラスを維持していることで、今やかなり有名な大学になりました。これも、教職員の努力はもちろん、大谷短大時代からの卒業生の皆様のおかげだと思います。

私は停年後、また富山県立大学の「地域協働支援室」で、統括コーディネーターとして働くことになりました。昨年度、私が関わり文部科学省によって6倍の難関を突破し、選ばれた「地（知）の拠点整備事業」（大学COC事業）の推進に努めています。

テーマは、「工学心」で地域とつながる「地域協働

型大学」の構築です。これは、地域との対話交流を通して、学生たちが課題解決力やコミュニケーション能力、地域貢献の態度を醸成させることをめざした事業です。例えば、新幹線開業後の富山の観光振興について、学生がグループで考え発表する取組などです。これからも、学生の成長のため、地域社会のため、頑張っていきたいと思います。

大学訪問の際には、環境工学科棟3Fの「地域協働支援室」に遊びに来てください。



富山県立大学には幾つの学科がありますか？（ヒント富山県立大学には機械システム工学科、知能デザイン工学科、情報システム工学科、生物工学科、環境工学科があります）

答えは ○学科

☆はがきで〒939-0398富山県射水市黒河富山県立大学内「千瓢」編集部へ答えと住所・氏名を書いて応募下さい。正解者10名に図書カード（500円）進呈。正解者多数の場合抽選。締切8月末（当日消印有効）。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。メールでの応募、同封のはがきでの応募も可。

### 「千瓢」8号クイズ当選者発表!!

<第8号クイズ>

富山県立大学学生委員会が発行している『富山県立大学ニュース』は今年の7月発行分で何号になりましたか？（ヒントちょうど区切りの記念号です）

答えは 100号です。

正解者は以下の方々です。（敬称略）図書カードをお送りしました。おめでとうございます。

早川俊一、水野晃美・江尻康浩

（広告掲載企業一覧）

株式会社建成コンサルタント、北建コンサル株式会社、株式会社サカエグリーン、株式会社上智、株式会社中部設計、株式会社新日本コンサルタント、水機工業株式会社、中越興業株式会社、富山県農業協同組合中央会、山本理化

## ★★ 平成26年同窓会総会のお知らせ ★★

### \*日 時

平成26年8月15日(金) 午後5時～ 受付開始  
 午後5時30分～ 総会  
 午後6時30分～ 懇親会

### \*会 場

グランテラス富山（旧名鉄富山ホテル）

### \*懇親会参加費

7,000円 当日会場にてお納めください。  
 尚、懇親会には酒類もご用意しております。  
 飲酒運転となりますので、お車でのご来場はご遠

慮ください。

出席される方は8月8日(金)頃までに下記へご連絡下さい。

### \*連絡先

富山県立大学同窓会事務局 荒木薫

〒939-0398

富山県射水市黒河5180

T E L 0766-56-7500 (内線130)

F A X 0766-56-0396

E-mail senpyokai@pu-toyama.ac.jp

## 声

### ♥水野（旧杉山）晃美（技・農学1986年卒）

第8号「千瓢」はとても内容が盛りだくさんで読みこたえがありました。私の職場には、技術短大の卒業生が多いので機会のあるごとに技短の思い出や『千瓢』について語り合い、これから県立大学について話題にしていきたいと思います。

### ♠谷村 実（技・機械1966年卒）

「短期大学部の閉学そして新たな大学への変身」の記事を興味深く読みました。田村三郎学長さんには頭の下がる思いです。安田先生有難うございました。

### ♠近藤 明範（技・草農業1973年卒）

技術短大を卒業して40年が過ぎ今年4月より富山に戻り第二の人生を送っております。『千瓢』を家族と一緒にいつも楽しく見ております。これからも皆様の活躍をお祈り申し上げております。

### ♠早川 俊一（技・草農業1965年卒）

安田先生の記事懐かしく拝読しました。谷学長の父石坂豊一さんとは94～96歳の亡くなるまで県土木改良事業団体連合会の塩谷太一さんを通じて親しくさせて

頂きました。市役所の職員研修会には石坂誠一さんが講師になって来られ休み時間にも親しくお話をさせて頂いたことも思い出しました。後に県議の佐野武夫さんから、父は大谷米太郎さんと仲良しで空襲後の東京へ後片付けをしに大勢で行ったことも聞きました。

### ♠江尻 康浩（大・機械2007年卒）

石塚学長の対談を拝読しました。初代藤井学長の「まずは地域に貢献して、社会貢献すると同時に、国内はもとより国際的に高い水準の大学と認めてもらえるよう最良の努力を払う」と開学当時の目標を引き継いで、今後ともご活躍頂きたいと思います。県立大学の更なるご発展を祈っております。

### ♠中山 丈志（技・衛生工学1969年卒）

機械検査「とやまの名匠」の布施さんの記事に毎日の努力の積み重ねが大切だと思い知らされました。私も65歳ですが、負けてられません。気持ちが奮い立ちました。ありがとうございました。

## 編集後記

▼ひさしぶりに「アンケートはがき」を同封しました。同窓会や機関誌『千瓢』に対する意見をお寄せ下さい。クイズやプレゼント（ワイン、かまぼこチップス）の応募にも利用して下さい。

▼今年の同窓会総会と懇親会は大学を離れてホテルで開催します。いつもの学園祭の日程とは違い、8月15日(金)のお盆開催です、友達と一緒に参加をお願いします。

▼同窓会のホームページアドレスが変更になりました。また内容もリニューアルしました。新しいhttp://tpu-dosokai.jp/を利用して下さい。富山県

立大学同  
窓会の  
フェイス  
ブック  
ページを  
公開しま  
した。

▼富山県  
立大学同

窓会の名簿作成の準備を進めています。皆さまの  
ご協力をお願いします。

▼今号はいつもより早くお届けしました。いつも  
は秋にお届けしていましたが、今号は夏です。皆  
さまのご意見をお寄せ下さい。では次号の第10号  
まで（池上 効・2014/06/20）



ホームページの写真